

重量用硝子ヒンジ

『ブルLF』-S

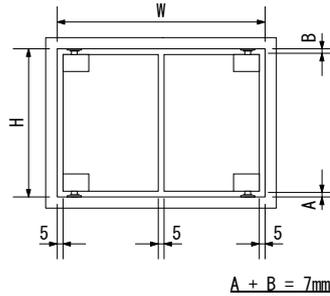
取扱説明書

8mm、10mm硝子用  
安全硝子荷重 35kg

総発売元：  
スリーナイン島野株式会社  
〒550-0015  
大阪市西区南堀江3-2-17  
TEL 06-6531-9423  
FAX 06-6538-0174  
http://www.999shimano.com

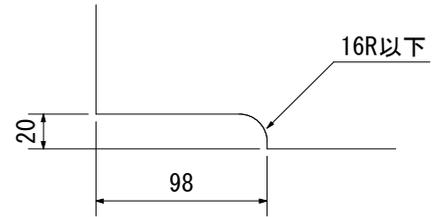
※注意事項  
◎扉硝子が横長の場合は、安全荷重の範囲内ではありません  
◎扉硝子が極端な縦長の場合は、たわみによって硝子が割れる恐れがあります。  
◎硝子面が大きな場合は、飛散防止膜の使用等、安全面を考慮して下さい。  
◎陳列用硝子蝶番です。建具用には使用しないで下さい。

step. 1 硝子の寸法設定



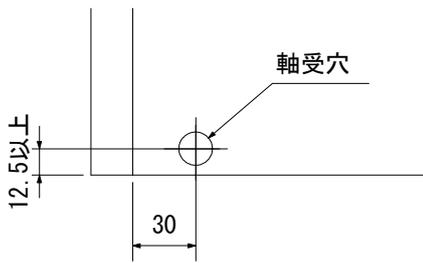
片開きの場合  
硝子高 =  $H - 7$   
硝子幅 =  $W - 10$   
  
両開きの場合  
硝子高 =  $H - 7$   
硝子幅 =  $(W - 15) \div 2$

step. 2 ヒンジ部分の硝子加工



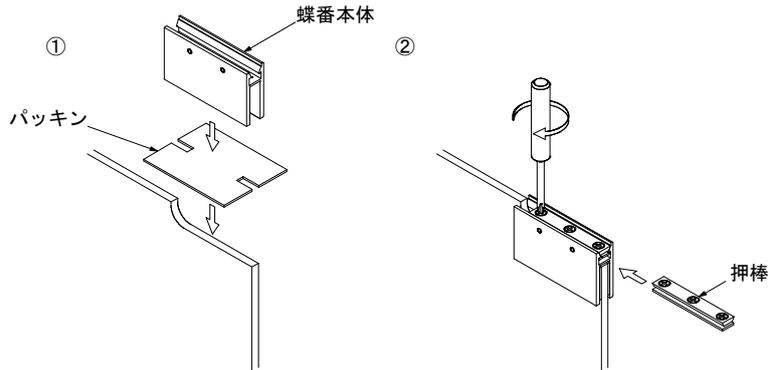
※安全の為、強化加工又は飛散防止フィルムを貼ることをおすすめします。

step. 3 軸受の取り付け位置及び加工



- ・ケースの上下とも上図の位置に、下記の寸法にて穴あけ加工して下さい。  
木製の時、16φ穴(有効深さ20mm以上)  
スチール枠の時、16.1~18φ穴 ( " )

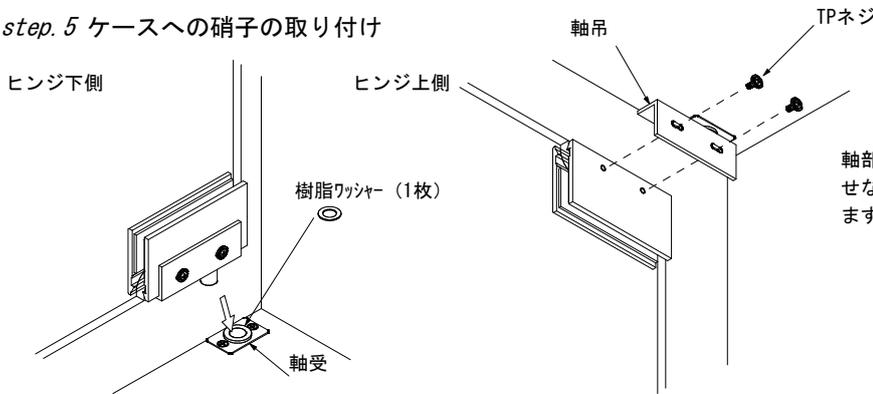
step. 4 硝子への蝶番本体の取り付け



- ①切り欠きした硝子にパッキンをあてがい蝶番本体を挿入します。  
硝子厚 8mm ⇒ パッキン 2mm厚 (穴のあいていない方)  
10mm ⇒ 1mm厚 (穴のあいている方)
- ②蝶番本体に押棒を差し込み、ドライバーでしっかり締め付けます。  
※開口部が狭い場合は広げてご使用ください。

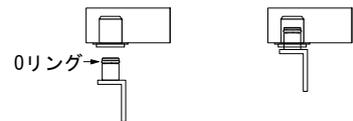
ウラ面に続きます

step. 5 ケースへの硝子の取り付け



- ・軸部に樹脂ワッシャーを計2枚、あらかじめつけておきますので外して下さい。
- ・下側の蝶番本体に、軸吊をTPネジを用いて取り付けして下さい。
- ・ヒンジ下側の軸受の上に樹脂ワッシャーを1枚セットします。そして、扉硝子を持ち上げ、蝶番の軸を軸受に差し込みます。(基本は下側にワッシャー1枚ですが、調整用として2枚使用も可能です。上側には使用しないで下さい。)
- ・ヒンジ上側の軸受を取り付け、右図のように軸吊だけを差し込んだ状態にして、蝶番本体と軸吊をTPネジで固定して下さい。

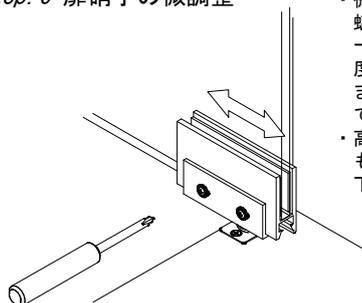
軸部のOリングの効果により、軸吊を持ちながら本体とを合わせなくても良いため、今までと比べて施工の手間が軽減されます。



※上記はあくまでも施工性の向上の機構であり、ヒンジや扉硝子を上部にて保持するようなものではありません。

※ある程度使用すると、Oリングが摩耗しており初期状態のように受座に残らないことが考えられますので、取り外しをされる場合にはL型座の扱いにご注意下さい。

step. 6 扉硝子の微調整



- ・微調整は、扉硝子の取り付け後、蝶番の裏側のTPネジをドライバーで一旦緩め左右に移動させたのち、再度TPネジを締め付けて固定します。また、微調整は最大 ±3mm の範囲で可能です。
- ・高さにおいては、樹脂ワッシャーをもう1枚追加することで、調整して下さい。

※注意事項 ・たたかない、子供に触れさせない、口にいれない  
・砂埃、高温多湿、直射日光を避けて保管する